

平成29年度

事業報告書

自 平成29年4月1日
至 平成30年3月31日

公益財団法人都市緑化機構

平成29年度 事業報告

都市のみどりは、地球温暖化の抑制や生物多様性の保全といった地球規模での環境問題への対応、ヒートアイランド現象に対する緩和や適応、大規模地震や豪雨・火災等に対する防災・減災効果の発揮など、国民が安全・安心な生活を送るとともに、居心地の良さを実感できる都市の環境を形成する上で欠かせないものとなっている。このため、行政等による公的なみどりの空間の確保に加え、市街地の大半を占める民有地におけるみどりの保全、創出とそれらの良好な管理運営が進められるよう、市民、企業等との連携・協働による取り組みの促進が重要である。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催まで3年と迫っているなか、より快適な環境下での競技の開催や観戦、さらには外国人観光客の受入れを実現するため、みどりを活用した都市環境の整備、さらには国際競争力のある都市づくりを進めていく必要がある。

このような諸課題の解決のためには、みどりに関する技術の開発や調査研究、知識の普及並びにみどりを保全・創出・管理することに対する価値観の共有などにより、都市住民や企業など多様な主体が参加する緑化活動を従来にも増して強力に支援し誘導していく必要がある。このため、みどりに関する市民活動と企業活動、行政の取組を結びつける協働関係としての「みどりのわ」の構築により、都市における多様な主体によるみどりに関する活動の連携を強化し、みどりに関する国民運動を盛り上げていくことが重要である。

当機構は、みどりによる安全で快適な都市環境の創造や、人と自然が調和したみどり豊かなまちづくりの実現に寄与すべく、引き続き公益財団法人として適切な運営に努めることとし、平成29年度においては、次の事業を実施した。

1. 普及啓発事業

(1) 全国都市緑化フェア

国民の緑化意識の高揚を図るため、横浜市との共催による第33回全国都市緑化よこはまフェア「ガーデンネックレス横浜2017」、及び八王子市との共催による第34回全国都市緑化はちおうじフェア「～みどりの丘の花絵巻 はちおうじ2017～」を、それぞれ以下のとおり開催した。

①第33回全国都市緑化よこはまフェア

開催期間 平成29年3月25日から6月4日まで
入場者数 600万人

②第34回全国都市緑化はちおうじフェア

主催 八王子市、公益財団法人都市緑化機構
開催地 メイン会場 富士森公園
サテライト会場 市内6箇所
開催期間 平成29年9月16日から10月15日まで(30日間)
入場者数 28.5万人(サテライト会場を含めると70万人)

開催期間中、フェアにおける普及啓発催事の一環として、企業の長年にわたる緑地の保全管理を通じた社会貢献活動を顕彰した。

- サンデンホールディングス株式会社
サンデンフォレスト・赤城事業所（群馬県前橋市）
- 西武鉄道株式会社 飯能・西武の森（埼玉県飯能市）
- 三井住友海上火災保険株式会社
三井住友海上駿河台ビル・駿河台新館（東京都千代田区）

（２）全国都市緑化祭

第３３回全国都市緑化横浜フェア及び第３４回都市緑化はちおうじフェアの中心的な行事として、秋篠宮同妃両殿下の御臨席のもと、全国都市緑化祭をそれぞれ以下のとおり開催した。

①第３３回全国都市緑化よこはまフェア

主 催 国土交通省、横浜市、公益財団法人都市緑化機構
式典会場 大さん橋ホール
開 催 日 平成２９年４月２６日（水）
式典概要 主催者挨拶
秋篠宮殿下おことば
表彰
・ 出展庭園コンテスト
・ みどりの社会貢献賞
生徒・児童による都市緑化宣言 閉会宣言
式典終了後、式典参加者とともに、記念植樹

②第３４回全国都市緑化はちおうじフェア

主 催 国土交通省、八王子市、公益財団法人都市緑化機構
式典会場 富士森体育館
開 催 日 平成２９年９月２０日（水）
式典概要 主催者挨拶
秋篠宮殿下おことば
表彰
・ 出展庭園コンテスト
・ みどりの社会貢献賞
生徒・児童による都市緑化宣言 閉会宣言
式典終了後、式典参加者とともに、記念植樹

（３）都市緑化キャンペーンの実施及び普及啓発ポスター等の配布

市民の都市緑化意識の高揚を目的として、以下のとおり都市緑化キャンペーンを開催した。また、一般財団法人日本宝くじ協会の協力により普及啓発ポスター等を作成、配布した。

○ 都市緑化キャンペーン

主 催 都市緑化推進運動協力会
企画運営：公益財団法人都市緑化機構
実施日 平成29年10月6日（金）
会 場 有楽町駅前広場（東京都千代田区）
概 要 全国都市緑化フェア等のパネルの掲出
花苗1,000鉢の配布
参加者数 約3,000人

○ 普及啓発ポスター

時 期 「春季における都市緑化推進運動」（4月1日～6月30日）
「都市緑化月間」（10月1日～10月31日）
配布枚数 各12,000枚
配布先 国、地方公共団体、緑化関係団体、日本商工会議所の会員、
日本民営鉄道協会加盟の私鉄各社など920団体及びその
関係団体

○ 普及啓発冊子

時 期 「都市緑化月間」（10月1日～10月31日）
配布部数 50,000部
配布先 国、地方公共団体、緑化関係団体、商業施設等

（4）その他

平成29年度「都市緑化月間」（10月1日～10月31日）をはじめ、
国や緑化関係団体等が行う緑化に関する諸行事に対する後援、協賛を行った。

2. 顕彰・助成事業

（1）緑の都市賞

明日のみどり豊かな都市づくり・まちづくりの推進を目的として、市街地等において「みどり」を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な実績と成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を顕彰している。

第37回「緑の都市賞」は、審査委員会（平成29年9月5日（火）及び9月27日（水）開催。委員長：樺山紘一 印刷博物館館長）を経て、以下の11件が受賞した。

賞	部 門	受 賞 者
内閣総理大臣賞	緑のまちづくり	鎌倉市（神奈川県）

国土交通大臣賞	緑の市民協働	「あすかオーナー制度～棚田オーナー、うまし酒オーナー～」(奈良県明日香村) 特定非営利活動法人明日香の未来を創る会/大字阪田
	緑の事業活動	「サンデンフォレスト赤城事業所における緑の保全活動」(群馬県前橋市) サンデンホールディングス株式会社
	緑の事業活動	「品川シーズンテラス」(東京都港区) N T T都市開発株式会社/品川シーズンテラスビルマネジメント株式会社/ 大成建設株式会社一級建築士事務所/株式会社N T Tファシリティーズ
都市緑化機構 会長賞	緑の市民協働	「日比谷公園ガーデニングショーの14年にわたる開催」(東京都千代田区) 日比谷公園ガーデニングショー実行委員会
	緑の市民協働	「地域総参加による「水の都・三島」の「緑と水のネットワーク創造」」 (静岡県三島市) 特定非営利活動法人グラウンドワーク三島
	緑の事業活動	「東京ガーデンテラス紀尾井町」(東京都千代田区) 株式会社西武プロパティーズ/株式会社プレイスメディア/株式会 社日建設計

賞	部 門	受 賞 者
奨励賞	緑の市民協働	「菩提樹池周辺緑地保全活動」(埼玉県所沢市) 菩提樹田んぼの会/山口の自然に親しむ会/菩提樹池愛好会
	緑の市民協働	「「下田の杜」の保全活動」(千葉県柏市) 下田の杜里山協議会
	緑のまちづくり	朝霞市(埼玉県)
	緑のまちづくり	「狛江版C S A」(東京都狛江市) 狛江版C S A発足準備協議会/狛江市/鹿島建設株式会社環境本部

(2) 緑の環境プラン大賞

みどり豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティの醸成等を実現することを目的として、優れたプランを国土交通大臣等によって表彰し、そのプランの実現のための助成を行う第28回「緑の環境プラン大賞」を、第一生命保険株式会社及び一般財団法人第一生命財団との共催により実施している。その中で、2020年までの特別企画として、東京都内に限定して花と緑で観光客等をお迎えする優れた緑化プランに対する助成を行う「おもてなしの庭」を実施している。

第28回「緑の環境プラン大賞」は、審査委員会(平成29年9月25日開催。委員長:進士五十八福井県立大学学長)を経て、シンボル・ガーデン部門として以下の3団体に対して約2400万円(1団体あたり約800万円)、ポケット・ガーデン部門として以下の10団体に対して約1000万円(1団体あたり約100万円)の助成を決定したほか、特別企画「おもてなしの庭」として以下の1団体に対して約2020万円の助成を決定した。

■第28回緑の環境プラン大賞受賞作品

●国土交通大臣賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
シンボル・ガーデン	みらいおもいけ園 グリーンガーデンプラン	兵庫県 神戸市	社会福祉法人みらい みらいおもいけ園
ポケット・ガーデン	大泉学園町7丁目『もみじの庭』 みどりと笑顔をおすそ分けする ポケットガーデン	東京都 練馬区	学園町ちやい旅・ガーデン プロジェクト

●緑化大賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
シンボル・ガーデン	「花と緑の力で！つながりの庭」 プロジェクト	宮城県 石巻市	一般社団法人雄勝花物語
シンボル・ガーデン	矢崎橋やすらぎ処	東京都 日野市	豊田矢崎橋やすらぎ処 プロジェクト

●コミュニティ大賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
ポケット・ガーデン	保育園発、地域の 「つながる庭（ビオガーデン）」	東京都 江戸川区	株式会社ポピンズ ポピンズナーサリースクール 西葛西
ポケット・ガーデン	風よそぐ大地と小さな探検隊 むさししんじょう第2保育園	神奈川県 川崎市	株式会社小学館集英社 プロダクション
ポケット・ガーデン	ひなた村・香りと食の エディブルガーデン	滋賀県 守山市	特定非営利活動法人子育て研究会
ポケット・ガーデン	ひろがれ！都会の小さな ビオトープ-多様な生きもの の場をより多くの人々とともに	大阪府 東大阪市	社会福祉法人どんぐり福祉会
ポケット・ガーデン	みんなで育てよう・ ふれあいの庭に	大阪府 豊中市	豊中みどりの交流会
ポケット・ガーデン	ミツバチを見ながらアフタヌーン ティーを！～生きものに優しい ポケット・ガーデン～	大阪府 池田市	大阪府立園芸高校 ハニービーサイエンスクラブ
ポケット・ガーデン	植える花夢ガーデン ～鳥・蝶・人～	兵庫県 三木市	フラワーマイスターみき
ポケット・ガーデン	雨水利用のリラックスビオトープ	広島県 広島市	広島市立鈴が峰小学校
ポケット・ガーデン	緑陰で深まる コミュニティスポットの可能性	大分県 大分市	社会福祉法人新樹会 すくすく・いきいき村

●「おもてなしの庭」大賞

受賞部門	受賞作品	所在地	受賞者
特別企画 「おもてなしの庭」	東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス 「みどりの鎌倉街道」	東京都 目黒区	学校法人東京音楽大学

(3) 屋上・壁面緑化技術コンクール

建築物等の屋上や壁面、人工地盤などの特殊空間における緑化技術の普及推進による都市環境の改善と豊かな都市生活の実現を目的として、優れた緑化技術を用いて、ヒートアイランド現象の緩和、省資源・省エネルギーの推進、生物多様性の確保といった都市環境の改善やみどりを活用した新たな空間の創出を実現した作品を顕彰している。

第16回「屋上・壁面緑化技術コンクール」は、審査委員会（平成29年9月7日（木）開催。委員長：山田宏之 大阪府立大学大学院教授）を経て、以下の10件が受賞した。

賞	部門	受賞者
国土交通大臣賞	屋上緑化	「西富久地区第一種市街地再開発事業 Tomihisa Cross」（東京都新宿区） 富久クロス全体管理組合 ほか
	壁面・特殊緑化	「豊洲フォレシア壁面緑化」（東京都江東区） 株式会社 IHI ほか
環境大臣賞	屋上緑化	「大手町の森」（東京都千代田区） 東京建物株式会社 ほか
	壁面・特殊緑化	「TRI-SEVEN ROPPONGI」（東京都港区） ペンブローク・リアルエステート・ジャパン・エルエルシー ほか
日本経済新聞社賞	屋上緑化	「西武池袋本店 食と緑の空中庭園」（東京都豊島区） 株式会社そごう・西武 西武池袋本店 ほか
	壁面・特殊緑化	「東急プラザ銀座 KIRIKO TERRACE / GREEN SIDE」（東京都中央区） 東急不動産株式会社 ほか
都市緑化機構会長賞	壁面・特殊緑化	「渋谷 MODI（エントランス部ファサード環境デザイン）」（東京都渋谷区） 古谷デザイン建築設計事務所 ほか
	壁面・特殊緑化	「赤坂センタービルディング・みどりの基壇」（東京都港区） 関電不動産開発株式会社東京支社 ほか
	特定テーマ	「あまねの杜保育園」（千葉県船橋市） 相坂研介設計アトリエ
	特定テーマ	「病院の屋上庭園の小さなリニューアル」（東京都渋谷区） エコ&ヒーリングランドスケープコンサル

今回は「審査委員会特別賞」を廃止するとともに、応募作品の面積が300㎡以下の「小規模空間の緑化」をテーマとする特定テーマ部門を設定した。

■表彰式の開催

「緑の都市賞」、「屋上・壁面緑化技術コンクール」及び助成事業である「緑の環境プラン大賞」の受賞団体を表彰するため、眞子内親王殿下ご臨席のもと、みどりの『わ』交流のつどい-都市の緑3表彰-を開催した。

主 催 公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団
 開催日 平成29年12月4日（月）
 会 場 明治記念館（東京都港区）

式典概要 主催者挨拶
眞子内親王殿下のおことば
祝 辞
賞状授与

- (1) 第37回 緑の都市賞
- (2) 第28回 緑の環境プラン大賞
- (3) 第16回 屋上・壁面緑化技術コンクール

受賞者代表挨拶

(4) 花王・みんなの森づくり活動助成

次世代にみどり豊かな環境を引き継ぐとともに、みどりとのふれあいを通して、子どもたちの心身の健やかな成長を図ることを目的として、身近な緑を守り、育てる活動と子どもたちがみどりとふれあう機会を創出する活動に取り組む市民団体の支援を花王株式会社との共催により実施している。

支援の期間は3年間で、1団体あたり初年度50万円、2年目50万円、3年目25万円の総額125万円を上限に助成を行っている。

平成29年度は、選考委員会（平成30年2月13日（火）開催。委員長：蓑茂壽太郎 東京農業大学名誉教授）を経て、以下の16団体を新たに支援対象として決定したほか、2年目継続20団体、3年目継続15団体に対する支援を行った。

■ 平成29年度花王・みんなの森づくり活動助成 新規助成決定団体

① 森づくり活動分野

活動場所	団体名	活動名
青森県 平内町	特定非営利活動法人 白神山地を守る会	豊かな陸奥湾の海と森のメカニズムを体験する事業
山形県 鶴岡市	熊野長峰広葉樹の森づくり委員会	ドングリの森再生プロジェクト
栃木県 市貝町・芳賀町	特定非営利活動法人炭の木植え隊	下野菊花炭の森づくり
福井県 福井市	槇山を育てる会	槇山保全環境整備
京都府 木津川市	森林ボランティア サン・フォレスト	3世代ファミリーの森づくり
兵庫県 神戸市 芦屋市	東お多福山草原保全・再生研究会	東お多福山の生物多様性豊かなススキ草原の復元と活用
佐賀県 唐津市	特定非営利活動法人 レインボー七つの島連絡会議	過疎化する離島を再生するための森林づくり事業
沖縄県 南城市	久手堅散策路整備有志会	久手堅散策路整備プロジェクト

② 環境教育活動分野

活動場所	団体名	活動名
北海道 札幌市	特定非営利活動法人 森林遊びサポートセンター	げんきの森づくりと森や木々の学習

宮城県 石巻市	たぶのきネットワーク石巻	「洞仙寺森の学校」整備活用事業
茨城県 水戸市	常磐大学松原哲哉ゼミナール	「常磐大学生きものの森」作りプロジェクト
愛知県 西中町	遊休農地活性化プロジェクト	遊休農地活性化プロジェクト
三重県 四日市市	一般社団法人四日市大学 エネルギー環境教育研究会	身近な里山の現状を知り未来をつくる！ ～地域の皆で学びあう～
滋賀県 大津市	TANAKAMI こども環境 クラブ	里山未来ふる里づくり
京都府 木津川市	任意団体こそだてママ net☆	鹿背山おやこ森の kichi
鹿児島県 与論町	特定非営利活動法人 与論島ウンバル学校	蝶の飛び交う森づくりプロジェクト「あ やばびる」

このほか、事業の一層の充実を目的とした企画の検討を行った。

(5) 全国花のまちづくりコンクール

花のまちづくりを普及させるため、花のまちづくりコンクール推進協議会（公益財団法人日本花の会、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会、一般財団法人日本花普及センター、公益財団法人都市緑化機構により構成）の主催により、花によるまちづくりの優れた取り組みを顕彰している。

第27回「全国花のまちづくりコンクール」は、審査委員会（平成29年8月1日（火）、9月4日（月）に開催。委員長：輿水 肇 元明治大学教授）を経て、以下の84件が受賞した。

賞	部門	受賞者
花のまちづくり大賞	団体	新地町立駒ヶ嶺小学校（福島県新地町）
	個人	山崎 久夫（富山県朝日町）
	市町村	藤枝市（静岡県）
	団体	すみよいカルチャータウンをつくる会 コミュニティガーデンふるる（兵庫県三田市）
花のまちづくり優秀賞	団体	浦戸諸島「海と花の物語」（宮城県塩竈市）
	団体	NPO法人大田・花とみどりのまちづくり（東京都大田区）
	団体	長岡市立山本中学校（新潟県長岡市）
	団体	社会福祉法人浄英会 長生保育園（新潟県長岡市）
	団体	越前市南地区自治振興会（福井県越前市）

	団 体	神原町花の会（花美原会）（静岡県浜松市）
	団 体	草津市ガーデニングサークル“グラッシー”（滋賀県）
	個 人	相場真江 相場毅正（群馬県太田市）

○花のまちづくり奨励賞 花のまちづくりコンクール審査委員会賞 [12件]

○花のまちづくり入選 [55件]

○花のまちづくり努力賞 [5件]

（6）ユニバーサルデザイン施設等普及事業

都市公園等を誰もが支障なく共に利用でき、利用者や地域住民への潤いと安らぎを与えることを目的として、ユニバーサルデザイン施設等で優れた機能を有するものを地方公共団体等に提供している。

平成29年度は、28団体に対して、テーブル・ベンチセット、水飲み場、高齢者対応ベンチ等のユニバーサルデザイン施設59基を提供した。

（都道府県） 新潟県、愛知県、岐阜県、石川県

（政令市） 新潟市、熊本市、仙台市、神戸市、千葉市、福岡市、浜松市、堺市

（その他市町村） 三原市、甲賀市、橿原市、葛城市、足利市、射水市、袋井市、福山市、焼津市、湖西市、長野市、八戸市、岐阜市、八代市、荒尾市

（公園関係団体）（一財）公園財団

（7）被災地の花・みどり提供事業

東日本大震災等激甚災害の被災地において、仮設住宅や災害公営住宅等の居住環境を改善し、居住者の方々に対し植物を通じて精神的側面から支援することや、街なかでの花やみどりによる景観形成を目的として、地方公共団体へ花苗とプランターを提供している。

平成29年度は、以下の13団体の47箇所の仮設住宅や災害公営住宅、公園等に計569基を提供した。

青森県：八戸市

岩手県：野田村、大船渡市

宮城県：仙台市

福島県：相馬市、国見町、湯川村、福島県公園・緑化協会

茨城県：常陸太田市

新潟県：五泉市

京都府：福知山市

島根県：津和野町

熊本県：益城町

3. 調査、研究及び技術開発及びこれらの成果の普及

都市緑化の技術や知識を普及し、都市における自然環境の保護及び整備、安全でうるおいのある生活環境の形成を図るため、自主研究、共同研究、受託研究等の方法により、都市緑化における緑地の保全、再生及び創出、良好な緑化空間の創出、植栽植物の育成及び管理等に関する調査・研究及び技術開発に取り組んだ。

平成29年度における主な活動は、次のとおりである。

(1) 共同調査研究

① 特殊空間緑化に関する調査研究

特殊緑化技術に関する研究活動と、本研究参加者の研究活動への理解を深めるため屋上緑化等に関わる研究者等と「平成29年度 特殊緑化に関する 研究発表会」を実施した。

また、緑化技術開発として「樹木の耐風性試験」、「傾斜屋根緑化実験及びつる植物土壌量適性実験」、(独)都市再生機構との共同研究として、「団地内における狭矮な植栽基盤によるフェンス緑化植物の生育に関する実証研究」の継続モニタリング、(公財)東京都農林水産振興財団との共同研究として「グリーンシェードベンチに関する研究」、また、「屋上緑化による雨水貯留遅延量の検討」を実施した。また、都市緑化よこはまフェアにグリーンキューブプロジェクトとして壁面緑化の出展を行った。

② 公園緑地における防災技術に関する調査研究

防災公園技術ハンドブックの改訂に向けた検討作業を進めた。また、熊本地震について、関係学会等と共同で実施した現地でのヒアリング調査の分析結果を日本造園学会で発表した。

- ・発表会議名 : 平成29年度日本造園学会九州支部大会
2017年11月、沖縄
- ・発表課題名 : 災害時の都市公園における車輛による避難の可能性の検討—熊本地震の状況を踏まえて—

③ ユニバーサルデザインに関する調査研究

都市公園におけるユニバーサルデザインに関する書籍の発行に向けての検討を行った。

また、障害当事者とともに都市公園・交通機関を利用しながらアクセシビリティを研究する事業を開始した。

④ グランドカバー・ガーデニングに関する調査研究

東京都が推進する校庭芝生化事業を推進するため、「校庭芝生の安全管理 安全のしおり 絶対に事故を起こさないために」を作成した。地域性系統緑化に関しては、植物材料の生産や利用の実態を把握するための情報収集を行った。

さらに、横浜で開催された第33回全国都市緑化よこはまフェア、八

王子で開催された第34回全国都市緑化はちおうじフェアにおいて、ガーデニングに関する最新技術の収集を行った。

⑤ 都市環境の保全、育成、創造に関する調査研究

グリーンインフラの要素技術である雨水貯留浸透基盤の普及促進を目的として、横浜市のグランモール公園の「美術の森地区」の街路樹植栽地に同基盤を設置し、雨水貯留浸透効果と微気象改善効果の測定によりその効果を確認した。

(2) 受託調査研究

都市緑化に関する調査研究を幅広く進めるため、国及び地方公共団体等からの委託を受けて、以下の調査を実施した。

① 都市緑化による環境の創造、改善に関する調査研究及び技術開発

- ・都市緑化等による温室効果ガス吸収源対策等の推進等に関する調査
- ・都市緑化による暑熱対策推進のための実証調査
- ・都心部におけるグリーンインフラの推進に係る検討業務
- ・都市におけるグリーンインフラの推進方策検討調査

② 都市における新たな緑化空間の創出に関する調査研究及び技術開発

- ・屋上緑化・壁面緑化等に関する実績分析及び良好な景観形成の推進に係る方策等検討調査

③ 都市における緑化を推進するための植栽植物の育成、管理に関する調査

- ・平成29年度幼稚園・保育所芝生化事業に関するサポート委託
- ・平成29年度緑の学び舎づくり事業講座等運営委託（講座運営）
- ・芝生維持管理マニュアル原稿等製作委託

④ 国・地方公共団体による都市緑化、企業による緑地創出、市民・企業参加の花と緑のまちづくり等の推進に関する調査研究

- ・平成29年度海外における日本庭園保全再生方策検討調査
- ・我が国の造園・緑化産業における生産性向上等に係る今後の展開方策に関する調査
- ・全国都市緑化ひろしまフェア基本構想策定業務
- ・東京都心部における質の高い緑の誘導方策の検討調査

(3) 科学技術研究

平成27年度に科学技術研究費助成事業（科研費）に採択された以下の研究を継続実施するとともに、学会等で発表した。

- ・研究課題名：アーバン・クール・スポットを創出する都市樹木の最適な樹冠形状の効果検証
- ・発表会議名：2017年度日本建築学会大会（中国）学術講演会
2017年8月、広島

- ・発表会議名：平成29年度環境情報科学センター学術研究論文発表会
2017年12月、東京

(4) 都市緑化フォーラム2017

以下のとおり「都市緑化フォーラム2017」を開催し、調査研究等の成果について発表を行った。

会場 日比谷コンベンションホール
 開催日 平成29年12月12日(火)
 テーマ おもてなしのみどり
 基調講演 おもてなしのみどりと日本庭園
 東京農業大学 教授 鈴木 誠

研究発表

- ・都市の暑熱緩和効果の改善に向けた都市緑化技術の開発・普及に向けた取組状況
 公益財団法人 都市緑化機構 今井一隆
- ・壁面緑化のおもてなし：実験と事例から見えてくること
 特殊緑化共同研究会 直木 哲
- ・防災施設のおもてなし
 防災公園とまちづくり共同研究会 野間優子
- ・安心・安全な校庭芝生の管理作業
 グランドカバー・ガーデニング共同研究会 秋篠周太郎
- ・パラリンピック会場公園のアクセシビリティ調査について
 ユニバーサルデザイン共同研究会 中野竜/今野恵雄
- ・グリーンインフラによる安全で快適な環境づくり/みどりで賑わいがよみがえる
 グリーンビジネス・マネジメント共同研究会 前川翔太/
 岡田知恵子
- ・ベランダからはじめるグリーンライフ
 造園新領域開発共同研究会 石井 匡史

4. 評価事業

(1) 社会・環境貢献緑地評価システム（SEGES）による評価

緑をまもり育てる活動を通じて社会や環境に貢献している企業の緑地を対象に、特に優れた取組みを評価・認定する事業を実施した。

① そだてる緑

- 民間が所有する土地で緑地の保全・創出活動に取り組んでいる企業等の取組みを認定する「そだてる緑」について、平成29年度は以下のとおり新規審査2件（表中◎）、更新審査を2件（表中★印）、維持審査を18件実施した。

（平成29年度末現在の認定数は22サイト。認定後は更新審査（3年ごと、

現地審査)と維持審査(毎年、書類審査)を実施。)

- 「Superlative Stage (スプラティブ・ステージ)」を永年にわたり、持続、発展、深化させてきた企業に対して、「緑の殿堂」を授与した。
(平成29年度末現在の「緑の殿堂」認定数は3サイト(表中◆印)。認定後は更新審査(5年ごと、現地審査)を実施。)

■そだてる緑 平成29年度認定サイト

認定企業：サイト	所在地	認定年度
◆三井住友海上火災保険株式会社 駿河台ビル及び駿河台新館	東京都千代田区	2005
◆トヨタ自動車株式会社 トヨタの森	愛知県豊田市	2005
アサヒビール株式会社 神奈川工場	神奈川県南足柄市	2005
◆ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社 幸田サイト	愛知県額田郡幸田町	2005
花王株式会社 和歌山工場	和歌山県和歌山市	2005
シミックCMO株式会社 足利工場	栃木県足利市	2005
★富士通株式会社 沼津工場	静岡県沼津市	2006
ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 大分テクノロジーセンター	大分県国東市	2007
サンデンホールディングス株式会社 サンデンフォレスト・赤城事業所	群馬県前橋市	2008
西武鉄道株式会社 「飯能・西武の森」	埼玉県飯能市	2008
立正大学 熊谷キャンパス	埼玉県熊谷市	2008
株式会社グリーン・ワイズ 本社緑地	東京都多摩市	2008
出光興産株式会社 北海道製油所	北海道苫小牧市	2010
出光興産株式会社 愛知製油所	愛知県知多市	2010
日産自動車株式会社 日産テクニカルセンター・日産先進技術開発センター	神奈川県厚木市	2011
ダイキン工業株式会社 ダイキンアレス青谷	鳥取県鳥取市	2011
★株式会社ディスコ広島事業所 桑畑工場	広島県呉市	2012
株式会社晴海コーポレーション 晴海アイランドトリトンスクエア	東京都中央区	2014
YKK株式会社 黒部事業所	富山県黒部市	2016
株式会社ディスコ 長野事業所茅野工場	長野県茅野市	2016

◎日本電信電話株式会社 武蔵野研究開発センタ	東京都武蔵野市	2017
◎旭化成株式会社／旭化成ホームズ株式会社 あさひ・いのちの森	静岡県富士市	2017

② つくる緑

- 都市開発・建築行為の計画に関し、良好な緑空間を創出し、社会・環境に貢献する緑の計画であることを認定する「つくる緑」について、平成29年度は申請がなかった。

③ 都市のオアシス

- 公開性・安全性・環境への配慮等の基準を満たす民間事業者所有の緑地を認定する「都市のオアシス」部門について、平成29年度は以下の8サイトを新たに認定した。(平成29年度末の認定数は47件、3年毎に更新)

■都市のオアシス 平成29年度新規認定サイト

認定サイト	事業者名	所在地
新ダイビル 堂島の杜	ダイビル株式会社	大阪府大阪市
GINZA SIX ガーデン	GINZA SIX 管理組合	東京都中央区
京橋エドグラン	京橋二丁目西地区市街地再開発組合	東京都中央区
順天堂大学医学部付属浦安病院 ポケットパーク	順天堂大学医学部付属浦安病院	千葉県浦安市
ザ・プリンス パークタワー東京 プリンス芝公園	株式会社プリンスホテル	東京都港区
BRANCH 茅ヶ崎	大和リース株式会社	神奈川県茅ヶ崎市
なんばセントラルプラザ リバーガーデン	リバー産業株式会社	大阪府大阪市
赤坂インターシティ AIR	新日鉄興和不動産株式会社	東京都港区

(2) 都市緑化技術の審査・証明

都市緑化技術の審査・証明は、民間企業等において開発された新技術の有効性を審査、証明し、国や地方公共団体に情報提供することにより、新技術の活用を促進し、都市の緑化に係わる公共工事の質の向上や効率的な運用等に寄与することを目的としており、平成29年度は審査・証明にかかる広報等を実施した。

5. 都市緑化に関する人材の育成、情報の収集及び発信、国際協力等

(1) 調査研究活動への支援

大学院生等の若手研究者による都市緑化に関する調査、研究及び技術開発を奨励するため、優れた研究テーマに対して助成を行うことにより、次世代を担う若手研究者の育成を図っている。

平成29年度は、以下の研究機関に所属している4名の若手研究者の調査研究活動に対して、総額40万円の支援を行った。

所属研究機関	研究テーマ
東京大学大学院	東京オリンピック・マラソンコースにおける緑化による温熱環境改善効果の評価
大阪府立大学大学院	人工衛星データを用いた近畿圏における長期的なヒートアイランドの変遷の評価
横浜国立大学大学院	コンジョイント分析による壁面緑化の利用者選好評価
慶應義塾大学大学院	福井県三方湖ハス川流域におけるグリーンインフラストラクチャーの経済評価

(2) 都市緑化技術研修会の実施

都市のみどりに関わる実務者や技術者の能力向上、都市緑化技術に関する情報の提供及び技術の普及等を目的として、以下のとおり都市緑化技術研修会を開催した。

会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター
 開 催 日 平成30年1月11日(木)～12日(金)
 参 加 者 58人
 テ ー マ 歴史に学ぶ これからのみどりのまちづくり
 講 義 ・歴史に学ぶ これからのみどりのまちづくり

国土交通省 都市局公園緑地・景観課
 緑地環境室長 古澤 達也

- ・都市の歴史を踏まえたまちづくりの風景
 法政大学 デザイン工学部 建築学科 教授 陣内 秀信
- ・都市公園の発明は社会の課題解決のためだった。では今日の役割はなにか？
 小口健蔵オフィス代表 小口 健蔵
- ・日本の伝統的庭園意匠・作庭技術を現代にいかにか
 いくか

東京農業大学 准教授 栗野 隆

- ・歴史まちづくり制度を踏まえた緑地保全
 公益財団法人鎌倉市公園協会 常務理事 土屋 志郎
- ・都市緑化とその技術の歴史を紡ぎ、学び、明日を語る

東京農業大学 名誉教授 近藤 三雄

現地視察 大手町ホトリア、大手町川端緑道

(3) 機関誌の発行

優れた緑化の取り組み事例や都市緑化技術等に関する最新情報の発信及び調査研究成果の発表等を内容とする機関誌「都市緑化技術」を発行している。

平成29年度は以下のとおり発行し、全国の造園・環境系の学部等を有する大学、図書館などの多くの閲覧が見込まれる機関・施設等に配布した。

No. 103 「都市の生物多様性」

No. 104 「身近なみどりによる防災減災」

No. 105 「農と都市緑化」

発行部数 (各号) 2, 000部

配布箇所数 (各号) 1, 000箇所

(4) 調査研究成果の発表

都市緑化に係る調査研究を通じて得られた成果について、関係学会において発表を行った。

- ・発表課題名：市街地における防火効果に關与する落葉樹の遮蔽力について
- ・発表大会名：2017年度日本緑化工学会大会（ELR名古屋2017）
2017年9月、愛知

(5) ホームページの活用

ホームページを活用して、都市緑化に関する情報や調査研究等を通じて得られた成果などを発信した。

(6) 植樹保険制度の活用支援

植樹保険の団体保険契約者として、公共植栽工事において枯損した樹木等の植替えが円滑かつ速やかに行われるよう、植栽工事請負者に対する制度の活用支援を行っている。平成29年度における植樹保険の付保件数は376件であった。

(7) 訪問学習等への対応

学生等の訪問学習として、平成29年10月26日（木）に、北海道北広島西高等学校5名の受け入れを行った。

このほか、全国花育推進協議会の活動に参加し、教育現場において、花と緑に親しみ・育てる機会を提供し、やさしさや美しさを感じる情操教育、花や緑を介した世代交流、都市緑化の普及啓発活動に協力した。

(8) 造園CPDプログラムへの登録

都市のみどりに関わる技術者の緑化技術の向上等を目的として、造園CPD協議会に参加し、主催する以下の事業について造園CPDプログラムへの登録を行った。

- ・都市緑化フォーラム2017
- ・平成29年度 都市緑化技術研修会

(9) その他の協力等

都市緑化基金等連絡協議会（会員数55団体）の活動に事務局として協力した。

7. 会議の開催

次のとおり理事会、評議員会を開催した。

(1) 理事会

- ・平成29年5月29日（月） 第15回通常理事会
議案 平成28年度事業報告及び収支決算（案）について
定時評議員会の開催について
報告事項 職務執行状況について
- ・平成29年6月21日（水） 第16回臨時理事会
議案 会長、理事長及び専務理事の選定について
旅費規程の改正について
- ・平成29年11月21日（火） 第17回臨時理事会
議案 規程等の整備について
報告事項 職務執行状況について
- ・平成30年3月7日（水） 第18回通常理事会
議案 平成30年度事業計画及び収支予算について
平成30年度資産運用方針について
顧問の選任について

(2) 評議員会

- ・平成29年6月21日（水） 第5回定時評議員会
議案 平成28年度収支決算（案）について
任期満了に伴う理事・監事の選任について
任期満了に伴う評議員の選任について

8. 理事の異動

平成29年6月21日付け

退任 高尾典秀

新任 内田裕郎、平山武史

再任 石川幹子、一本木真史、上杉俊和、鬼木幹生、輿水肇、高梨雅明、
林輝幸、宮下和正、矢野龍、山口博喜

9. 監事の異動

平成29年6月21日付け

退任 坂本裕彰、吉田哲夫

新任 上原啓史、鎗田一

10. 評議員の異動

平成29年6月21日付け

退任 近藤茂夫

新任 竹歳誠

再任 伊藤英昌、川嶋辰彦、近藤三雄、須磨佳津江、中島宏、根本勝則、
野口智子、藤巻司郎、丸田頼一、涌井史郎

※平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書は、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。